

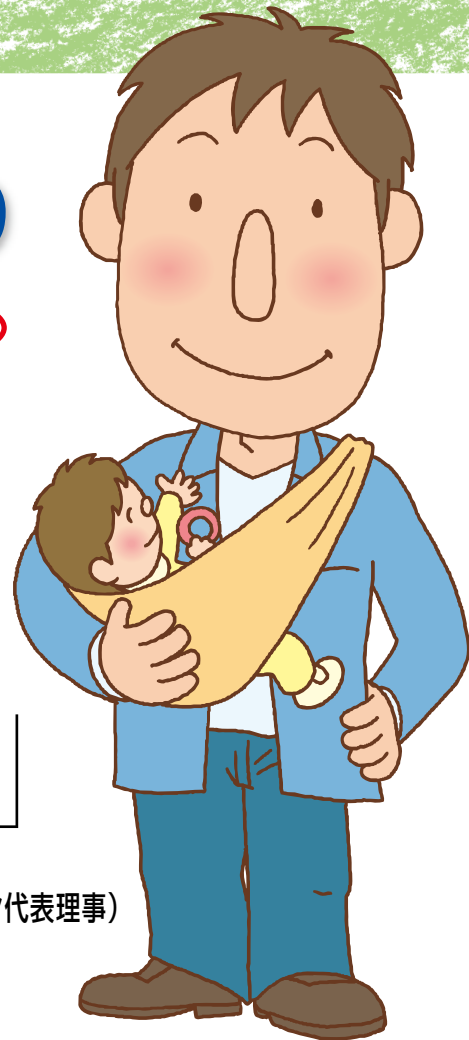
第16回 男女共同参画社会づくり 推進県民大会

参加者募集

🔧 基調講演

イクメンが語る 三つのバランス

～仕事、生活、子育て～



🍼 講師 ^{あん どう} 安藤 ^{てつ や} 哲也さん (NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事)



🐣 プロフィール

父親支援のNPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事。

1962年生まれ。二男一女の父親。出版社、書店、IT企業など9回の転職を経て、2006年に同NPOを設立。「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」と、企業・一般向けのセミナーや、父親による絵本の読み聞かせ「PaPa's絵本プロジェクト」などで全国を飛び回る。子どもが通う小学校ではPTAや学童クラブの会長も務め、「父親であることを楽しもう」をモットーに地域でも活動中。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」座長、内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員、内閣府「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」メンバー、観光庁「休暇改革国民会議」委員、東京都「子育て応援とうきょう会議」実行委員なども務める。

著書に『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』(NHK出版)、『PaPa's絵本33』(小学館)、共著に『パパルール～あなたの家族を101倍ハッピーにする本』(合同出版)、『絵本であそぼ!』(小学館)、翻訳絵本に『ぼくとおとうさんのテッド』(文芸堂)などがある。NHK第一ラジオ『ラジオビタミン』にもレギュラー出演中。読売新聞でコラム「パパ入門」を連載した。

🚗 特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン <http://www.fathering.jp/>

2006年11月に設立。「Fathering=父親であることを楽しもう」という考えを持つ若い世代の父親を支援し、働き方の見直しや企業の意識改革、地域社会の再生、次世代の育成までを目標に、父親の意識改革を促すセミナーやワークショップ、スクール事業、パパ検定事業、旅行事業、父子家庭支援、育休取得推進、産後うつ予防プロジェクトなど、さまざまな父親支援事業を展開している。また2011年3月には児童養護施設を巣立つ子どもの自立支援を目的とした「タイガーマスク基金」を設立した。

🕒 **とき** 平成23年 6月21日(火) 13:00～15:40

📍 **ところ** ひめぎんホール サブホール

📣 **定員** 1,000名 **参加料無料**(託児・手話通訳あり)

この大会は、男女が互いに人権を尊重し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するため、県民の皆さんといっしょに考え、ともに実践していくために開催するものです。あなたのご参加をお待ちしています。

🐰 **主催** 愛媛県、男女共同参画社会づくり推進県民会議、財団法人えひめ女性財団

6月17日～23日は愛媛県男女共同参画推進週間 ～パートナーウィークえひめ～ です。

第16回男女共同参画社会づくり推進県民大会



6月21日(火) ひめぎんホール サブホール

12:00 開場

13:00 開会

主催者あいさつ

13:10 基調講演

演題 「イクメンが語る三つのバランス
～仕事、生活、子育て～」

講師 ^{あん どう} 安藤 ^{てつ や} 哲也 (NPO法人 ファザーリング・ジャパン代表理事)

14:30 (休憩)

14:40 てい談

テーマ「ワーク・子育て・バランスの実現に向けて」

^{あん どう} 安藤 ^{てつ や} 哲也 (NPO法人 ファザーリング・ジャパン代表理事)

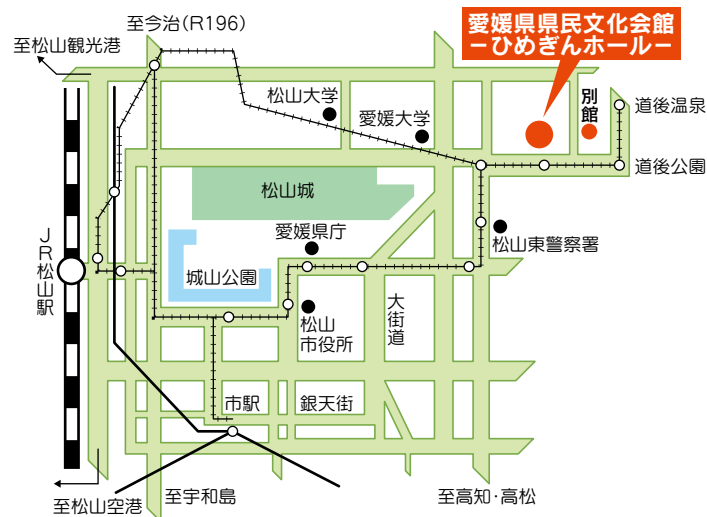
^{きり き} 桐木 ^{よう こ} 陽子 (松山東雲短期大学教授)

^{たか いち} 高市 ^{しん いち} 眞一 (株式会社パルソフトウェアサービス代表取締役)

15:40 閉会



会場案内図



会場：ひめぎんホール サブホール

松山市道後町2丁目5-1
TEL 089-923-5111



申込方法

はがき、電話、ファックス、E-mailで、
●氏名(代表者)、●連絡先、●参加人数をお知らせ
ください。
(定員になり次第締め切ります。)



託児のご案内(要事前申込)

当日、就学前までのお子さんの託児を行います。
傷害保険に加入いたしますので、託児を希望される
場合は、6月3日(金)までにお子さんの氏名、年齢、
性別をご連絡ください。



申込先

〒790-8570

愛媛県県民環境部管理局
男女参画課事業係

電話：089-912-2332

ファックス：089-912-2444

E-mail：danjokyodo@pref.ehime.jp

愛媛県ホームページ

<http://www.pref.ehime.jp/>

省エネルギー推進のため、
なるべく公共交通機関でご来場ください。